

「次世代を担う子どもの文化芸術体験事業」が開催されました



10月17日、五霞東小学校において、劇団「オペラシアターこんにゃく座」によるオペラ『森は生きている』が開演されました。

これは、文化庁主催の「次世代を担う子どもの文化芸術体験事業」の一環として実施されました。この事業は、本物の舞台芸術に身近に触れることにより、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことを目的としたものです。

子どもたちは、事前に毎朝歌の練習をしたり、劇の中で使用する待雪草を作ったりして準備をしました。観劇後には、「自然を大切にすることを学びました。」と興奮気味に語っていました。

たばこ販売協同組合古河支部五霞組合のクリーン清掃が行われました



12月3日、多目的センター周辺において、茨城県たばこ販売協同組合古河支部五霞組合によるクリーン作戦が行われ、町内ではたばこを販売する11店舗のみなさんが参加しました。当日のごみ収集では、たばこの吸い殻、落ち葉などが回収され、きれいな道路となりました。



寄附がありました



12月5日、健康福祉まつり実行委員会（篠崎悦子委員長）から、健康福祉まつり参加者の皆様から毎年寄せられた募金の一部を「中央公民館のバリアフリーの整備に役立ててほしい」と現金150万円の寄附がありました。

当日は、五霞町社会福祉協議会中川会長が代理として町に来庁され、町長に目録が手渡されました。中川会長は、「障害者の方々が公施設を利用しやすくなれば」と話していました。

ご厚志に対し、厚くお礼申し上げます。

男性の料理教室を行いました

12月12日、保健センターにおいて、男性の料理教室を開催し、町内在住の男性11名が参加しました。五霞町食生活改善推進員さんの指導のもと、そば打ち教室を行いました。参加者のみなさんも慣れた手つきで生地をこね、あつという間においしい手打ちそばが出来上がりました。

